廣白石叢書

白石叢書

癸巳三月識

弘文館藏書印

14
588
16

門 仁曾
潘 588
養 16

白石道書

雲山祕庫

白石遺書

正徳三年癸巳三月老中より問ふ所にて奉答書

但年号は老中より見せられ候也

板倉家文庫記

内閣文庫

白河書

文部省
昭和倉庫

一

在番所ニ遠國ヲ使ヲ初ル所中ニ通ル人数ハ道具ニ
附ル手当番頭組頭ニ所中ニ事ヲ御達ス所中ニ事ヲ
ヲ付多部ニ相達ルヲ之ノ人有ル事ハ立番ニ遠國ヲ使ヲ事
ヲ以テ第一ノ事ニ可仕ル立番中ハ二條大坂ト隨府
少ク遠程ノ遠国ヲ合カ来ル多ク多ク其ノ所
ニ有ル事ヲ之ノ達国ヲ使ヲ中ニ高家ニ高家ニ之ノ使ヲ番頭
ニ三家ヲ之ノ国ヲ使ヲ番所ニ大坂ヲ月付ヲ諸国巡検所
番ノ引渡ヲ不遠不ル使ヲ組頭ヲ使ヲ所番ニ大坂
ヲ月付ヲ諸国巡検ヲ或ハヲ使ヲ組頭ヲ使ヲ所番ニ大坂
ニ

不時の用意に成る事にハ世外又京大阪駿府江
江堺江登せの事或ハ長崎江日光江行幸ハ文政元年
等と迄過去隔の事別も不有と事ハ無之国役
やうしつも其事別有と事ハ一例を以て論しうるく
事ハ大小当時書役当時の事ハ
其時役儀を定て多事ハ也の例ハ推て
らるべき事ハ二條大阪五書の事番頭元名其身之間しハ
組頭ハ又其外上同しハ無ハ世ハしハ
大書役の事ハ或ハ十万石の大名計ハ或ハ場主の格式
ハ其外ハ大小に寄て其身之の大小に寄て人数を

持せハ無用也ハ方石以上の格式と成ハ其番の間の儀式
ハ其外ハ大小を論せと雖ハ古来の例ハ役儀の
事も役儀の事も役儀の格式と事有て其身の
大小ハ不論ハ其例ハ事とハ世事の中ハ古来の
例年久ハ成ハ事ハ也ハ可成事ハ有ハ当時の
儀ハ論ハ大番頭ハ中万石以上の人ハ三四千
石の人と有ハ人ハ三千石と二万石の人を引
ら番ハ千ハ其之儀ハ七千石のハ人在
番ハ時ハ方米三千石と云ハ事ハ彼是合せて六千石ハ
過ハ一万石に引ハ四千石のハ人ハ有ハ事
ハ世万石の人ハ五番の時ハ合米一万石ハ事

[illegible]
[illegible]
[illegible]

法の事ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

車に乗り上がる時扶持方と唯一各身分限に論ずる事を
[illegible]ふ上は御用向に[illegible]是又相成る事一つ
[illegible]の番頭流御使の事[illegible]扶持方[illegible]
[illegible]自分に後に扶持方人馬に身分限に応じ[illegible]
[illegible]事可成の事ふれ[illegible]其節の御使と[illegible]
雖も身分限に応じ[illegible]道中に扶持方定の人
[illegible]の法[illegible]人数を[illegible]一可無事ふい遠国
の諸奉行交替等の事[illegible]普請に扶持方人[illegible]
[illegible]人数[illegible]
[illegible]道中に扶持方の法[illegible]
[illegible]長崎[illegible]事に他の事[illegible]

一

と過ぎの事[illegible]
自分の馬四[illegible]の人数[illegible]
御軍役[illegible]
[illegible]
御[illegible]
[illegible]
[illegible]

世ちかく近年ふるひてい寛永のころは形わるひいつ世間の
校箱合相等わるく見侍るものと出来ぬ人
数多く新敷設置中ばかりも先世さく對の狹箱たて筆と
中事多くたゝ来たるまゝ儒漢のかゝるくすり礼制ふるも
きたる事ふ中伝るも何編ものとせめそ出るる人と
留のまゝ法もわるべき事ともも中毎記しるくことと過事
筆写世のまゝ伝法とめと事くふまくあくなりしてのゝ
の事いかゝ及ぶとも迷く当世近ふ著述見侍るの日備のた
ゝも多く集り所り事ゝ少年の面く考る下人抱置る
歌舞ある座人伝とかゝれるゝ法ゝ可然事の人
者下人等年ゝ出勤り又ゝ時ゝのゝ所り病なゝ有ゝ時ふ

人ゝ多くゝ可ゝ大年ゝ座ゝ百法ゝ百ゝ有ゝ古事と
仰世の事ふ似る事ゝ有ゝ寛永の御定の奥書不
出定ゝ係人ゝ多ゝ此ゝ世ゝ抱ゝ者ゝ出ゝ世ゝ知ゝ
者ゝ多ゝ者ゝ人ゝ多ゝ者ゝ新ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ人ゝ不ゝ者ゝ
ゝ人ゝ事ゝ部ゝ世ゝ家ゝ世ゝ者ゝ時ゝ伝ゝ人ゝ何ゝ事ゝ伝ゝ者ゝ
事ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ寛ゝ永ゝ伝ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ
可然事ゝ者ゝ者ゝ又ゝ寛ゝ文ゝ伝ゝ者ゝ定ゝ伝ゝ寛ゝ永ゝ伝ゝ定ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ
と減ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者

無有らん歟、然れば諸事に先づ天下の法と申す立て人々
なりして其法と申すは、まづ殿下に有らんずるものなむよりて
まづ其法を以て諸事を行ふ事なり、然るに近代は殿下の
時に成りて法を定むる事なし、是は三十年の内に定むる
べきなり、然れども寛文の法を出だす、是は文治より
四十年に成りて其法を定む、元和寛永
両度の御軍役の法を定むるも御出陣日光御参詣の
人数御定めなり、役人は法にくらくして其別
法事に無くして、ただ軍役に例を准じ各異
人数に限らるべき事なりて其役のありかたを別
有るべき事なり、

凡そ信仰しかたく世法のうるはしき事は寛永寛
文年中の御定有るべきなり、近代は五十年に来
世事ぬるしかば美濃の国代官先祖川馬鞍の
徒歩をもって定め用ひ、其格式は如何様にも
なりゆく思ふに例を准じ、中年の
事成敗きわめ、ただ役人に有るべし、美濃の国代官人
人の事定めは、ただ法事を以て定むるなり
其時の格式のもとづくむ来たるべきの御役人能
事に限りなし、中所奉行の法役は往
来の路次の宿駅務人を法令の如き事と
可有らんと、人々なるべし、古来より例

有らんて其組の同心五人宛の者より門番一人宛の事と定め
ゆき是もむつかしく行き[illegible]
のこと組の[illegible]門番一人[illegible]
巡察御[illegible]振廻使役[illegible]の使番[illegible]如くにて無
[illegible]
[illegible]
[illegible]

りて供人と増りてい弼る御定を以ちて〻人多く
なりしゆへ寛永の御定を寛文の御定に
ほ定も過ぎる至り度ぬきにて〻有て〻無ほ役人を
ほ定の外なる者を〻なとゝ作ぬれんいほ定なれとおもひ
無理ほ事ゝなれ（世の人なとゝ称するも別られ無きにあらず
ろくの男の伝説ゝりんとゝとゝとゝとゝれのて
相ほ定に出を以て無きゆるゝ）但し又世度寛永寛文の例ふなら恵供の人
数とゝいんせるきゆりんゝ寛文の御定書のとゝく人数
減せるきゆ事とゝりを新らられりんる是今るおひて
有ぬ定いとゝなれは御軍役の御定い御当家方供とゝの御常法
よりゆゝるゝるゝひゝ思ひ月ゝ供人の数いすゝるゝやゝと
御軍役の人数寄奥ゝるゝるゝ常ゝとゝるゝ急りたゝゝ

事は猶ゝの前ゝとゝ有ぬきゝ藤ゝの事ゝおゝるふ
迫ゝるゝるゝい其軍役様ゝの人馬ゝの事ゝ御法のおゝとゝ
減ゝるゝひ年ゝきゝひゝるゝゝ多ゝ集ゝ花ゝ奥ゝ
ゝ藤ゝ家ゝの新ゝ多ゝ御ゝ急ゝ長奥ゝ故ゝ供ゝ
人ゝも有ゝゝ新ゝゝゝ多ゝゝゝゝゝゝゝゝ事ゝ
ゝゝゝ思ゝ問ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ御ゝゝゝゝ人ゝゝ出ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ寛ゝ形ゝ御定書ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ御ゝゝゝ御軍役ゝ人馬ゝ道具ゝゝゝゝゝ
と有ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

一

一貴賤の衣服の事　世人の中に近年に来り給へる繻珍を中と美麗とも中と又美麗なる繻珍を中と美麗とも中と書ひ分る事に因て事ふるの繻珍と中と美麗とや事に有る事にて解説とてあるべしと云ふ事に繻麻とやいふ事に繻麻ものとも云ふ事にて繻麻ふの事にて繻麻とも云ふ事にて繻麻ふの事にて繻麻ふの事にて繻麻ふの

[illegible]ハ皆[illegible]ハ絹織ハ[illegible]と中ほどの事ハ無
[illegible]用ひ物と云[illegible]ハ用ひ物[illegible]
[illegible]新調の物を用ひ[illegible]ハ是ハ絹羅ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]遍方[illegible]に常ハ新調の物と用ひ[illegible]
[illegible]ハ絹細の小袖ハ[illegible]の新[illegible]の[illegible]ある表
[illegible]の上方と用ひ[illegible]ハ[illegible]ハ嘉
[illegible]物[illegible]と[illegible]絹[illegible]ハ[illegible]を用ひて考[illegible]ハ新調の物
と用ひ[illegible]絹細[illegible]を[illegible]して初て[illegible]
[illegible]の物[illegible]ハ[illegible]事[illegible]ハ[illegible]ハ編ハ編細[illegible]の
上品の物と用ひ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]用ひ[illegible]事[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]の物ハ

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ小袖[illegible]事[illegible]
[illegible]て絹細[illegible]の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
小絹羅ハ遍[illegible]事[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ絹の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ

月四日天和二年十二月の度に法家中の侍又は歩行若
党等庭お衣類の制を出されはべらい寛永の頃定めは歩行侍
と給仕童らは歩のおとは別有る所なれば記載きに別
段に手法定めき事に付の分は其儀あるべき事法令に
中古寛度度に天和の衣類の事寛永十一月天和三年
三月毎の禁令たりしかども四年目にて冬は歩行の
おとは用ひるに役所を補の為に裃礼儀に
おと敷に上方の常皆に法令に裃礼儀
上品の服の儀ならば又は歩行の時分夏冬共に
袋物に袋物の内に羽織紋付の市範中に
寛永天和の制禁の趣なるべしとの事相違

旨に法令に寛永の事とも命じ上方寛永の方にも
ひて天下高なるに付て諸の取きされの事の中に
其時の諸に下常に郷に編に編編に用ひられ
所に品々ふるくに法令に行く事慣き事なるも命じ
年に来中古の類の法令年に相増に其儀に
中にも存ぜざるもの無事とも又もしも有に事とも
寛永十六年二月の御定に中間少数に百石の法令の法令
定免に其後の法令に定に法令に成
所に法令に其法令に成に定きに
中に法令に中の衣服法令に成羅に
今度其御定に法令に成に今文論に成に法令に

[illegible]

振舞の料理の事 是又近年に来振舞なるて
[illegible]事 是も古来なる中形と近年中形と
[illegible]別有[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

信玄の事は是又近世迄の[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　屋作之事、寛永八年十月廿七日、寛文八年二月廿六日、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又其須近い豊臣大閤のまれ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

不可[illegible]事[illegible]

[illegible]

一　老中若年寄対面の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右三條[illegible]

[illegible]

一　京大坂諸府並諸国郡代[illegible]

京大坂諸府並諸国郡代[illegible]

[illegible]

[illegible]

東照宮の神慮なり

家康院様より御家を[illegible]れて仰せられ置かるる

御事年号[illegible]東照宮

御代界[illegible]寛永十年[illegible]月[illegible]十

万石の御軍役を改め定めらるる御陣の時ふつ

りとなる御法度を定めらるる事

大猷院様御政務の始り

東照宮家康院様の御家法[illegible]家康院様の御代界の

当家万代迄の御式と御議定なるべく事なおえ

ば元和寛永後の御定をもとにせらるべく寛永の

御定は元和の御定をもとにされば其御法を始めらるべき

太平のはじめ[illegible]

らんみな其時重くなりの御事なれば[illegible]

と可有之事なり四万石[illegible]

相定なる御公儀有り事なり寛永の御軍役の

の事なれば[illegible]方代[illegible]天下の大名小身共公儀

なる御[illegible]

家康院様大猷院様御定なる御軍役

人数の定[illegible]

寛永二十[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大納言様日光御社参宮之三年

嚴有院様日光御社参宮の時供奉の面々人数定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中の間を以て少給しく勘弁して相応を立し一人一事宜
しきもの軍役の所定ふ道理の事
一 御雇人数の儀も近年定まる人数十七人の内定まる事
一 在番の間番頭組中振舞の儀ならしも料理も菜
数四種番三種菜ふ五種に振舞
蒲衣中一の定番一切ふ禁じ申事ふ勘弁申事
一 有馬ふ酒菜等和の儀一切ふ禁制申事
番頭組中五番の内或ハ組振或ハ組振ハ組中ふ有馬ふ酒事
切ふ禁ぜらるべきこと
して組中振ハ組ふ定番の時の法度実又ハ年寄の時の法度
実又ハ御定ハ二汁三菜二度ハ
又ハ年寄の振ハ番の数ハ
後明暦二年ハ番組中ハ
二人宛ハ
茶いろいろ有ハ番の内あいろ

一 相撲ハ元和の年ハ
中ハ
御番ハ
人のこと
中ハ
公儀役人中の
訴事の
内ふ
内の
中の
ハ
ハ
ハ

[illegible]

[illegible]

二條大坂と云ふ区別可有之事と思ふ今之通二ツ[illegible]

駿府上番の番頭組頭中の事は第一役三ツ二役の方を以て

[illegible]

當地と相変りは道路と云ふ[illegible]

第[illegible]事も二條大坂の[illegible]

[illegible]

大坂[illegible]

可有[illegible]

事と有之[illegible]

[illegible]家流儀[illegible]

[illegible]

中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

次に書類[illegible]の事[illegible]

[illegible]

[illegible]

可許法の事ハ如来の[illegible]自分に[illegible]侍と人くの事[illegible]
の事[illegible]とのハ[illegible]ハ[illegible]事[illegible]論[illegible]
[illegible]古来の法と相[illegible]れ[illegible]事[illegible]
[illegible]

一 江戸迫方通り人数[illegible]

江戸迫方通り人数[illegible]の事 寛永[illegible]の御定を[illegible]
せ[illegible]ハ寛[illegible]の時[illegible]定[illegible]事[illegible]
相見[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]又寛[illegible]の
[illegible]事[illegible]時[illegible]御[illegible]事[illegible]
[illegible]御定[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]御定を[illegible]

の事を[illegible]

寛永[illegible]の御定[illegible]

二百人

三百石より四百石迄　侍一人
五百石より七百石迄　侍二人
八千石より二千石迄　侍三人
三千石より四千石迄　侍四人
五千石より六千石迄　侍五人
七千石より八千石迄　侍七人

按箱二つとも[illegible]一人[illegible]
事[illegible]
按箱二つとも[illegible]
長[illegible]

七万石ニ付キ侍ハ人

右寛永寛文ノ御定ニ付テハ相定ル可ク自今以後ノ運ビ
ハ侍ノ人数ハ其分限ニ減少ノ分ニ応シ減ジ
ル可キモノトス然レトモ特定ノ限ノ外ハ運ビ
ノ分ハ公用ノ為メニ出スモノアルトキハ
特限ノ外ハ或ハ侍二人ヲ増シ或ハ挟箱二ツヲ用ヒラル
ヘシトモ侍ヲ減ジ挟箱ヲ減ジ其ノ他ノ
中ニ適当ノ処置ヲ為シ別ニ流ヲ組ノ用ヒヲ以テ運ビ
数ノ外ニ出ル分ハ
有ラサルモノトス

少名ノ向ハ御軍役ノ事
ヤウヤクヤウヤクニ人数ヲ減ジ

三家家格大名
ニ成来リタル人
数ハ定ル方ニ
ヒリ出ル例
有ラサルカ

三家家格大名ニ成来リタル人数ハ定ル方ニヒリ出ル例有ラサルカ

ヤウヤクヤウヤクニ人数ヲ減ジ

御軍役ハ

寛永寛文ノ御定ハ三万石ニ付キ
人数ハ五十人ニ
付キ
ハ
御軍役ノ如ク一ツ
ハ
ハ
ハ

[illegible]

御[illegible]中[illegible]

家老又は大名の[illegible]

[illegible]

御[illegible]

[illegible]

一　衣服之制度等[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

振茶の内二汁七菜吸物一献者三献菓子二種焼物
一献者二献ハ過分の儀茶の湯の振舞の書の會合ハ
後ハ改て茶の會合ハ簡単にて一汁三菜吸物一献者一
献とし茶客招客ハ有られハ二汁五菜吸物一献者
三献菓子二種焼物の内一献者二種七菜五菜の中一献ハ吸物者三献の中五菜者菓子二献ハ焼物
菓子の内一献ハ菓子の内一献者多分の事
又振舞四献ハ五菜者多分の事
物有ハ焼物ハ吸物ハ一切ハ用ひ
ハ直年種ハ料理の品奥
京大坂町方ハ仕方ハ別に有の事ハ江戸
或ハ茶客ハ
是迄奥を作ハ事有ハ茶事平敬仕
茶ハ
是ハ茶ハ
一切ハ厳禁ハ
料理ハ是ハ振舞ハ
茶ハ

ハ
茶ハ
振舞ハ
茶ハ
一切ハ厳禁ハ
料理ハ
茶ハ
振舞ハ
茶ハ
一音信贈答の事
茶ハ
上に
茶ハ
茶ハ
茶ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]